



コミュニケーションは対面が大事

校長

私が小学校に上がる前だったでしょうか。外で友達と遊んできた後は、手も足も泥だらけ砂だらけで「お風呂で洗ってらっしゃい！」と怒られ、風呂から出てくると「お風呂の中まで泥だらけじゃないの！」と怒られる。

思い出すと吹き出してしまうくらい、のんきな時代でした。

最近の子どもたちは友達と一緒にいるのに、それぞれが画面に集中していて会話をしている風でもなさそうです。もしかしたら画面上でチャットで会話をしているのかもしれない。

電車に乗るとスマホを握り、画面をずっと見つめる人が車両のほとんどを占める光景に少々奇異な感覚すら覚えます。

令和2年の3月、新型コロナウイルス感染症予防のため、全国一斉学校の臨時休業が行われました。

最初は半信半疑でも、中国武漢市の街中で人々が倒れている映像が流れたのに続き、タレントの志村けんさんが亡くなったことで、「これは大変なことになった。」との思いを抱いた方が多かったのではないのでしょうか。

3年あまりに及ぶマスクの生活で、子どもたちはもちろん、大人である私たちも対面で会話することに戸惑いを覚えるようになってしまいました。人前で話をしたり、誰かに話しかけたりする行為自体が悪いことであるような気持ちになります。

在宅勤務やワーケーション、スーパーやコンビニの自動支払機の導入等は、とても便利で一般的になりました。

しかし本来、互いに顔を見て会話をするとい

うことは、とても人間的な行為です。

口元が見えない、表情がわからない、というのは、子どもの発達に良くない影響を及ぼす、というのは研究報告を聞くまでもなく肌感覚として納得です。

日本には以心伝心という言葉があるくらい、どちらかというと言葉に依らないコミュニケーションも尊ばれてきましたが、それでも仕草や目の動きに注目する等、対面することの重要性は変わらないように思います。

対面して仕草や表情の変化を感じ取るからこそ、心で相手の意を汲むこともできるのでしよう。

子どもたちにとっては、人生の1/2から1/4がマスク生活だったわけですから、ことは重大です。

「新しい生活様式」としてのソーシャルディスタンスの確保と咳エチケットは継続しつつも、相手としっかり向き合っているコミュニケーションは、コロナが落ち着いてきた今こそ、見直すべきスキルであると思っています。



3年生校外学習 カスミ フードマーケット旭店

## お知らせ

災害時の児童引き渡しへのご協力ありがとうございました。

9月8日(金)は、台風13号の影響を受け、非常に不安定な天候となりました。

本校では、引き渡しをする家庭数や学校周辺の環境を考慮し、「随時の引き渡し」を実施しました。

保護者の皆様にご協力いただいたおかげで、全児童無事に引き渡すことができました。

今後も、児童の安全と迎えに来ていただく保護者の方の安全を慎重に考え、災害に対応していきたいと思えます。



## 9月1日避難訓練

夏休み明けの9月1日(金)に、ワンポイント避難訓練を行いました。

児童は、机の下に避難し、静かに担任の指示を聞くことができました。

学校では、「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所を選んで避難できるように指導しました。ご家庭でも、避難について話題にしていただければと思います。



## 人権教室に参加しました！



9月5日(火)に4年生の児童が人権教室に参加しました。

人権教室は、人権擁護委員の先生方がDVD資料を使いながら、「どうしたらみんなが、なかよく過ごしていけるのか」について授業をします。

授業後、子ども達は「いじめを見て見ぬふりはしないようにしようと思う」「みんなのことを大切にしたい」などの感想を話していました。

## 第5校舎の改修工事がまもなく終わります！



4月から続いていた、本校第5校舎の改修工事が、10月上旬に完了します。

この工事で、もとの校舎の古くなった部分を補修し、部分的に机や備品が新しくなりました。

後期から、新しい理科室、家庭科室、音楽室で授業が始まります。新鮮な環境のもと、児童にとって楽しい授業になるよう、教員一同頑張っています。

ホームページでも、学校だよりを御覧いただけます。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/ichiran/index.html>